

平成25年度

予算説明書



花と歌舞伎と名水のまち

小鹿野町

目 次

は じ め に	1
平成25年度予算規模について	2
I 自然と歴史に囲まれた住みよい生活環境整備	3
II 健康と福祉のまちづくり	7
III ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり	11
IV 地域に根ざした活気あふれる産業づくり	15
資 料 編	
1 財政指標	18
2 一般会計当初予算の推移	18
3 普通交付税の推移	18
4 職員数の推移（一般会計分）	18
5 職員給の推移（一般会計分）	18
6 基金（貯金）残高の推移	19
7 地方債（借金）残高の推移	19
8 小鹿野町役場・電話番号一覧	19
9 小鹿野町の沿革	20

は じ め に

昨年末に行われた衆議院解散総選挙により、日本は再び自公連立政権となり、第二次安倍政権が誕生しました。新政権誕生以降円高に歯止めがかかり、株価も徐々に上昇を始め、日本経済に明るい兆しが見え初めてきたところでもあります。

しかし、原油価格の高騰による燃料調達価格の上昇や環太平洋経済連携協定（TPP）の交渉の行方など、まだまだ先の見通しは予断を許さない状況が続いています。

このような大変不安定な経済情勢ではありますが、国の予算編成方針である「15カ月予算」の考え方にに基づき、当町においても、地域の経済活性化を図るため、前年度比5.0%増の66億4,100万円の積極型予算を組ませていただきました。

さて、当町も合併後7年を経過し、徐々にではありますが、一体感が増してきたと感じています。旧町村の均衡ある発展に寄与するために合併団体にのみ認められている「合併特例債」は、一昨年の東日本大震災の影響で5年間延長され、当町においては、平成32年度まで発行が可能となったところでもあります。俗に有利な借金といわれている合併特例債ですが、あくまでも借金であることを念頭に置き、健全な財政運営を図っていくことは、必要不可欠なことであります。

今後も、町の全ての会計を健全運営していきながら、町の将来を見据え、町民の皆様と一緒に考え、行動していく所存であります。

本説明書は、平成25年3月定例議会で申し上げた「施政方針」に基づき主な事業について説明してあります。引き続き皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げ、発行に当たっての挨拶といたします。

平成25年5月

小鹿野町長 福島 弘 文



町の花
「セツブンソウ」



町の木
「モミジ」



町の鳥
「ウグイス」

平成25年度予算規模について

◇予算規模

会 計 名	予 算 額	前年度対比
一般会計	66億4,100万円	5.0%
国民健康保険特別会計	16億9,417万1,000円	0.6%
後期高齢者医療特別会計	2億5,939万8,000円	2.8%
介護保険特別会計	18億 558万5,000円	19.8%
浄化槽設置管理等特別会計	1億4,050万円	2.8%
病院事業会計	15億5,054万円	3.3%
水道事業会計	3億5,149万5,000円	△3.7%
国民宿舎事業会計	2億4,402万6,000円	8.7%
合 計	126億8,671万5,000円	5.8%

【平成25年度一般会計予算に対する附帯決議】

＜小鹿野中学校大規模改修事業の予算執行に対して附帯決議がなされました＞

- ①小鹿野中学校を統合拠点校としての大規模改修工事を実施することについて、町民へ十分な説明をすること。
- ②小鹿野中学校を統合拠点校としての大規模改修工事を実施することについて、町内すべての中学校及び小学校のPTAと保護者へ十分な説明をすること。
- ③大規模改修工事完成後には統合する、との同意を、各中学校生徒の保護者から得た後に、大規模改修事業予算を執行すること。
- ④統合同意が得られなかったときは、既存校舎改修必要箇所の工事を早急に実施すること。
- ⑤上記結果を公表すること。

◇地域の元気臨時交付金の概要

「地域の元気臨時交付金」とは、国の平成24年度補正予算成立に伴い、新たに発生する地方自治体の負担額を軽減するために交付されるものです。

小鹿野町では、この交付金を活用するため、以下の事業を平成24年度補正予算に計上・繰り越し、平成25年度予算と一体的に実施します。

《附帯決議とは？》

議会において、議案が議決された際に議会の意思表示として行われるものです。

法的な拘束力はありませんが、執行部（町）は、これを尊重することが求められます。

事業名&概要

■三田川小学校校舎大規模改修工事

建築後約40年を経過しているため、全体的な改修工事を行います。

事業費：1億9,904万円

■基幹水利施設ストックマネジメント事業

小鹿野用水の改修を国県の助成を受けて計画的に行います。

事業費：340万5,000円



三田川小学校



小鹿野用水頭首工

I 自然と歴史に囲まれた住みよい生活環境整備

豊かな自然と恵まれた自然環境は、暮らしの安心と充実を支える基盤となります。

小鹿野町には、自然と共生する文化や風土があり、国立公園や県立自然公園など環境保全エリアが多く設定されています。

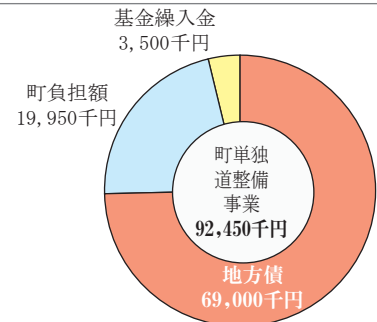
これからも自然環境を保全しつつ住民生活の向上を図っていきます。



◇ 居住環境

町単独道整備事業【建設課】

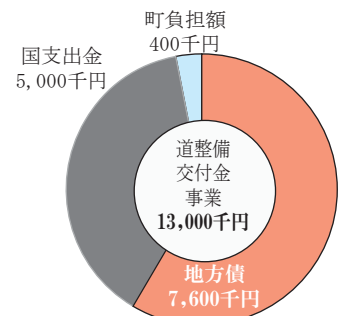
住民生活の基幹である町道については、毎年要望等に基づいて改良を行っています。本年度も14路線の改良や痛んだ舗装の修繕を行います。また、伊豆沢地区にある残土置き場を運動広場に転換する工事も行います。



道整備交付金事業【建設課】

3カ年の計画で町道189号線（腰ノ根地区）の整備を行ってきました。

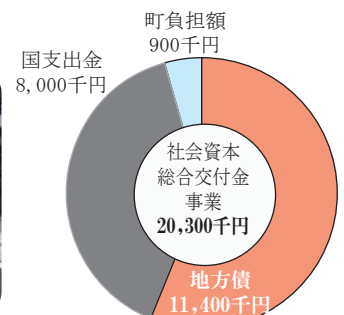
本年度で、最終年度となります。



社会資本整備総合交付金事業【建設課】

5カ年の計画で町道89号線（北町裏通り）の整備を行ってきました。

本年度で、最終年度となります。



【用語解説】

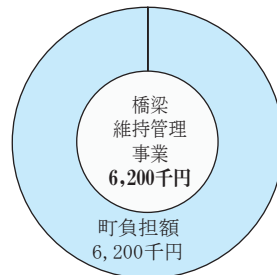
町負担額：地方自治体が自分で調達するお金で、主に地方税や地方交付税など。一般財源と呼ばれているもの。

地方債：地方自治体が事業を行うために借り入れるお金で、合併特例債、過疎・辺地対策事業債など。

基金：地方自治体が、将来のために蓄えている貯金。

橋梁維持管理事業【建設課】

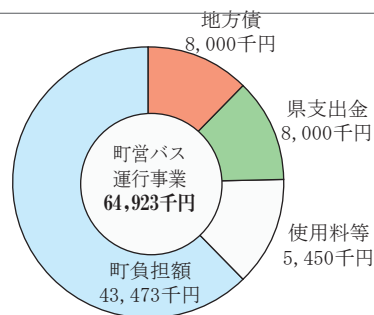
昨年度策定した「橋梁長寿命化計画」に基づき、改修のための設計を行います。なお、改修工事は平成26年度からを予定しています。



町営バス運行事業【両神庁舎管理課】

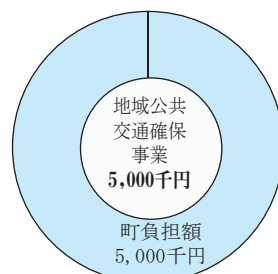
バス路線再編に伴い、バス停やバス方向幕の改修を行います。また、バスターミナルに利用者の利便性を考慮し、新たに公衆トイレを設置します。

なお、77歳以上の方の無料券交付も引き続き行います。



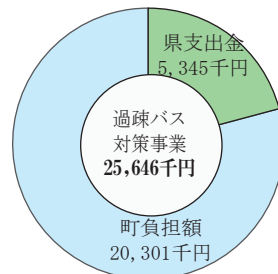
地域公共交通確保対策事業【総合政策課】

一昨年実施したデマンド型運行社会実験に基づき、下小鹿野・長若・伊豆沢地域を中心に乗合タクシーの運行を開始します。



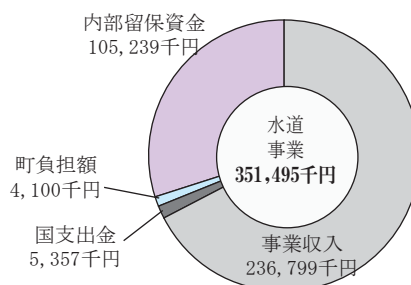
過疎バス対策事業【総合政策課】

民間で運行しているバス路線（志賀坂線・倉尾線）確保のために、助成を行い、皆様の交通手段の確保に努めます。また、この2路線は、町営バス同様引き続き77歳以上の方は無料でご利用いただけます。



水道事業【水道課】

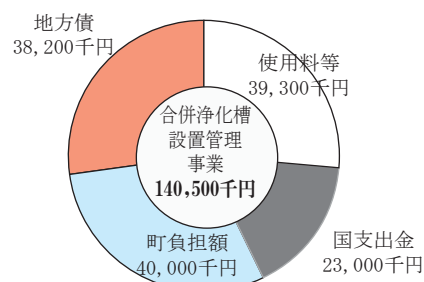
水道事業については、「独立採算制の原則」に基づき、健全な事業経営を目指しています。長引く景気低迷の影響で収益は減少傾向にありますが、水道水の安定的供給のため計画的に施設の改修・整備を行っていきます。



合併浄化槽設置管理事業【衛生課】

小鹿野町の美しい自然環境を保護するため、合併処理浄化槽設置事業を積極的に推進するとともに適切な管理を行っていきます。

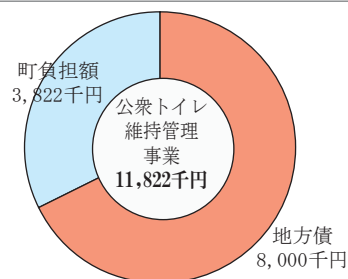
なお、本年度は、80基の新規設置を目標としています。



◇ 自然環境

公衆トイレ維持管理事業【住民課】

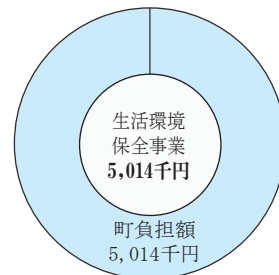
毎年計画的に公衆トイレの水洗化を実施してきましたが、本年度は、小鹿野小学校隣接地に公衆トイレを新設し、大きなイベント等に対応できるようにします。



生活環境保全事業【住民課】

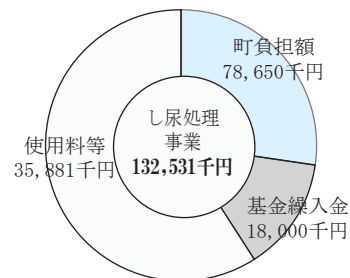
東日本大震災以来、自然エネルギーに対する関心が高まっています。そこで、エコ給湯器設置費を引き続き助成するとともに、住宅用太陽光発電設備設置費については、件数を増加して助成いたします。

また、本年度よりてんぷら油の廃油を利用したバイオディーゼル燃料を公用車の一部に使用することで、廃棄物の減少と燃料費の削減に努めます。



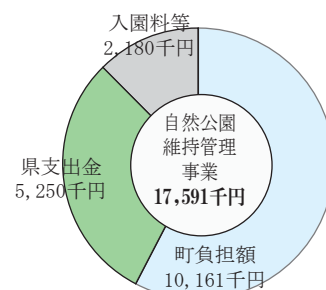
し尿処理事業【衛生課】

町内のし尿・浄化槽等の汚泥を効率的に処理するための施設の維持管理事業です。本年度は、機械設備の安定的な稼働を確保するため、大規模な改修工事を行います。



自然公園維持管理事業【産業観光課】

自然公園は、四季折々様々な顔を見せて、人々の心を癒してくれます。四阿屋山を中心とした「両神国民休養地」、両神山を中心とした「秩父多摩甲斐国立公園」、二子山を中心とした「西秩父自然公園」など町内に存在する自然公園を適切に管理し、憩いの場の提供に努めます。

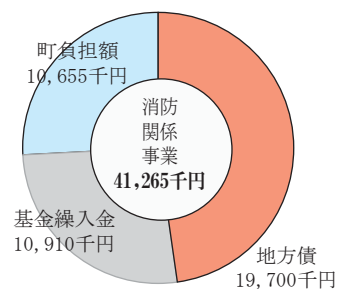


◇ 安全な暮らし

 消防施設備品購入事業
 消防施設維持管理事業
 防火水槽整備事業
 }
 【住民課】

町民の皆様の安全のため、日頃から熱心に活動していただいている小鹿野町消防団。本年度は、消火活動に欠く事のできない消防タンク車を第3支団へ配備します。

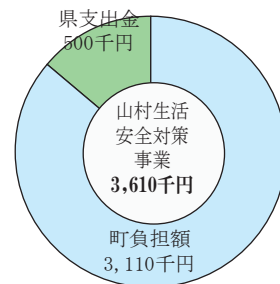
また、長年活用が検討されてきた三田川中学校裏用地に秩父消防本部西分署を建設することとなったため、用地取得費等を計上いたしました。



山村生活安全対策事業【産業観光課】

毎年、地域からのご要望により整備を行っています。

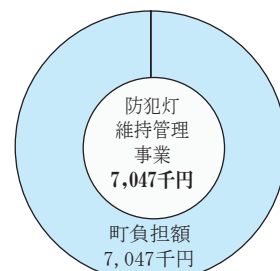
本年度は、両神・中平地区の安全対策を行います。



防犯灯維持管理事業【住民課】

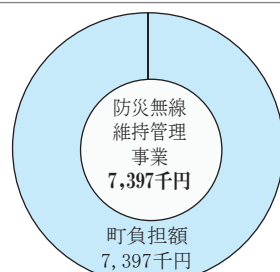
町内各地にある防犯灯は、住民生活を守るために必要不可欠な存在となっています。

東日本大震災以来、節電に対する意識が高まってきています。町では、計画的にLED電球への交換を行っています。



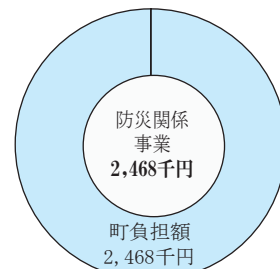
防災行政無線維持管理事業【住民課】

災害など緊急時にお知らせする防災行政無線。町内に79基の子局がありますので、これらのバッテリーを毎年計画的に交換し、安定稼働を確保します。



防災関係事業【住民課】

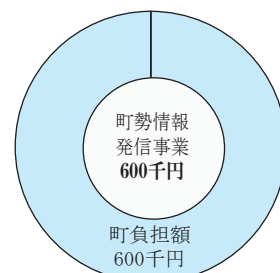
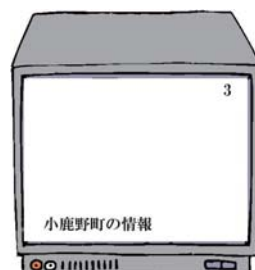
昨年度策定した「地域防災計画」に基づき、緊急時に設置される避難所用の備品を配備します。また、一昨年から行っている地域防災訓練は、本年度は両神地域を対象に行う予定です。



町勢情報発信事業【総務課】

災害などの緊急時に、テレビ埼玉を活用し、町の情報をいち早く町民の皆様にお知らせし、避難等がスムーズに行えるようにします。

また、平常時には、観光情報をリアルタイムで発信し、観光客の誘客にも役立てていきます。



II 健康と福祉のまちづくり

小鹿野町は、町立病院を核とした地域包括ケアシステムを構築し、推進してきました。その結果、医療費の抑制が図られたところであります。

今後は、今まで以上に進行する少子高齢化に対応するため、子育て支援や地域福祉の充実を図り、地域の生活が安心して送られるよう努めていきます。



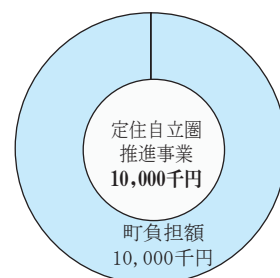
町立病院

◇ 健康づくりと医療

ちちぶ定住自立圏推進事業（医療連携）【保健福祉課】

定住自立圏事業の一環として、秩父地域1市4町で「ちちぶ医療協議会」を設置し、医師・医療スタッフの確保、救急体制の維持、予防医療やリハビリテーションの充実に取り組んでいます。

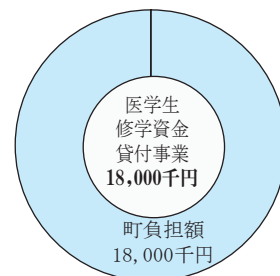
本年度も引き続き地域の医療確保に取り組んでいき



医学生修学資金貸付事業【保健福祉課】

全国における医師不足は、相変わらず厳しい状況が続いています。

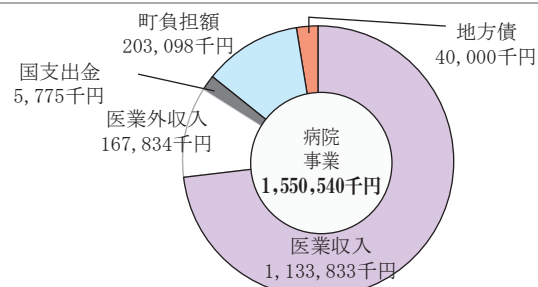
町では、町立病院の将来における医師確保のため、医学生に対する修学資金の貸付事業を行っています。



病院事業【町立病院】

病院事業会計は、医師不足等により経営が引き続き厳しいことが予想されます。

本年度も医師・医療スタッフの確保・充実に努めるとともに、レントゲン撮影装置等の医療機器更新を行い、地域医療の中核となるよう努めていきます。

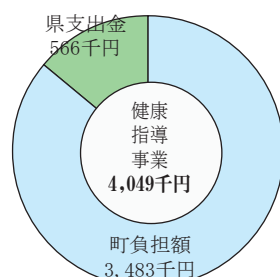


健康指導事業【保健福祉課】

般若の丘・いきいき館における運動指導や、24時間対応の電話による「いつでも健康相談」を行い、皆様の健康づくりの一翼を担っていきます。

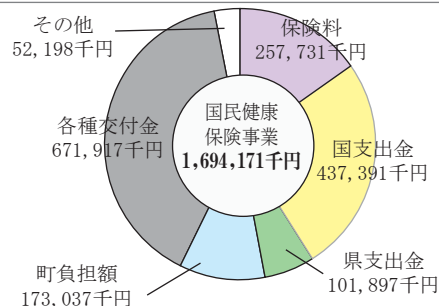


いきいき館



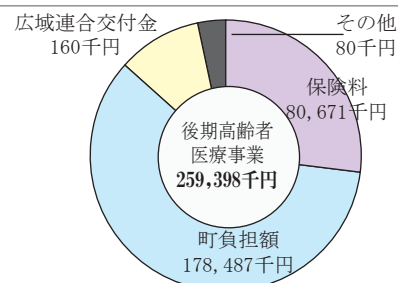
国民健康保険事業【保健福祉課】

町民の約3分の1の方が加入している重要な保険制度であります。保険事業維持のため、本年度も過去最高となる繰出金を一般会計から行います。



後期高齢者医療事業【保健福祉課】

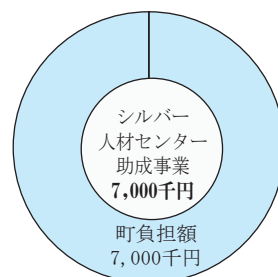
75歳以上の方全てが加入する健康保険制度です。



◇ 地域福祉の充実

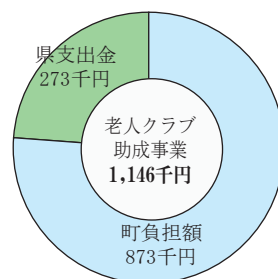
シルバー人材センター助成事業【保健福祉課】

シルバー人材センターは、高齢者を中心に仕事を斡旋し、生きがいづくりと健康づくりに役立っています。シルバー人材センターの運営を助成することにより、高齢者福祉の増進を図っていきます。本年度は、町からの助成金を増額します。



老人クラブ助成事業【保健福祉課】

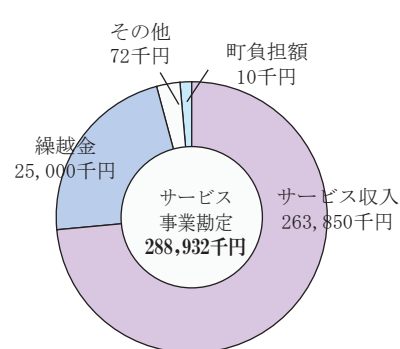
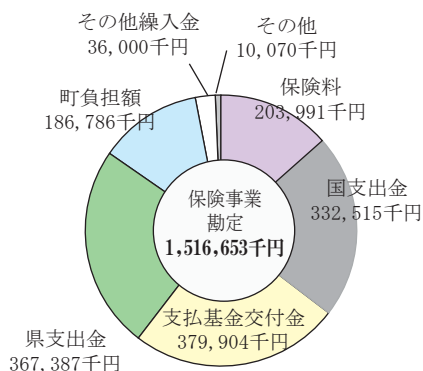
老人クラブは、町内各地で結成されていて、平成24年度末現在、20団体・1,558人の方が生きがいづくりなどの目的で様々な活動を行っています。元気に活動を行うことで、介護予防にも繋がりますので、引き続き支援を行っています。



◇ 高齢者の保健福祉

介護保険事業【保健福祉課】

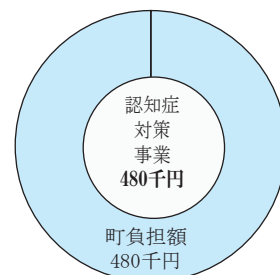
介護保険は、介護を社会全体で支えるとの理念の下、開始後10数年を経過しました。年々増加する介護サービス需要により、保険料は増加の一途をたどっています。町では、介護予防に着目し、般若の丘・いきいき館を中心に予防活動に力を注いできました。今後も、引き続き介護保険の安定的な運営に努めていきます。



認知症対策事業【保健福祉課】

高齢化の進展に伴い年々発症が増加する認知症。認知症対策は、家族だけの対応では限界があると思われるので、地域で支えあう体制づくりに取り組んでいきます。

また、インターネットを活用した相談体制の充実にも取り組んでいきます。

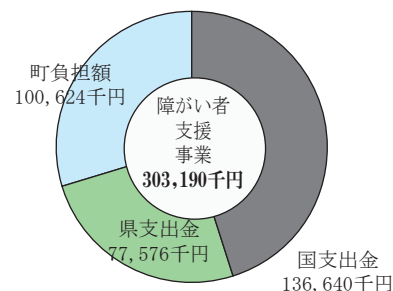


◇ 障がい者の自立と社会参加

障がい者総合支援事業
障がい者地域生活支援事業
障がい者等生活支援事業
地域活動支援センター } 【保健福祉課】

障がい者支援については、障害者基本法の改正に伴い、本年度より障がい者の自立や社会参加を今まで以上に推進していくようになります。

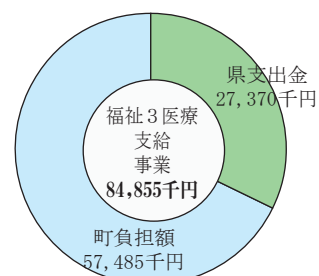
町では、町立病院前にある作業所の機能を向上させるなど、地域生活を支援するための施策を展開していきます。



◇ 子育て支援

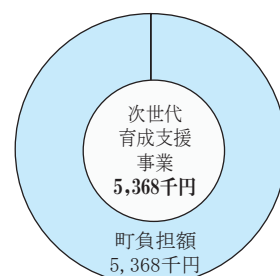
子ども医療費支給事業
ひとり親家庭等医療費支給事業
重度心身障害者医療費支給事業 } 【住民課】
【住民課】
【保健福祉課】

利用者の方の利便性を考慮し、本年度より、福祉3医療費の窓口での支払を廃止します。
(秩父郡市内の医療機関に限られます。)



次世代育成支援事業【住民課】

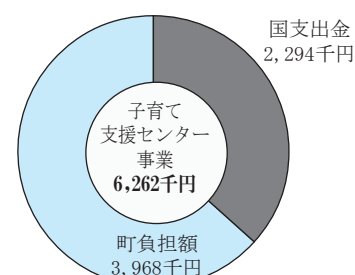
将来を担う地域の宝である子どもたちの成長を、地域全体で見守り支援していくための「子育て支援計画」の策定を行います。



子育て支援センター事業【住民課】

子育て家庭等に対する相談やアドバイスなどを行うとともに、母親同士のコミュニケーションの場を提供するための事業を支援センターや児童館2階を利用して行っています。本年度は、児童館2階の内装改修を行います。

大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

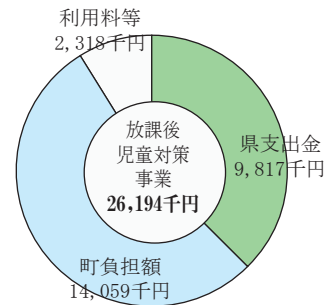


放課後児童対策事業【住民課】

学童保育は、働くお母さんの増加に伴い、年々利用希望が多くなってきています。

本町には現在小鹿野地域に2カ所、両神地域に1カ所の学童保育があり、100人近くの児童が利用しています。

本年度は内装の痛みが激しくなってきた両神学童保育所の修繕工事を行います。



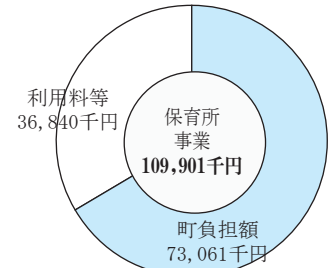
保育所事業【住民課】

本町にある町立保育所は、小鹿野保育所及び両神保育所の2カ所です。

保育環境の改善のため、両神保育所は平成23年度に改修工事を行いました。本年度は、小鹿野保育所の流し台改修工事を行います。

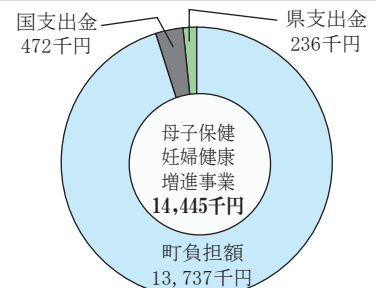


小鹿野保育所



母子保健・妊婦健康増進事業【保健福祉課】

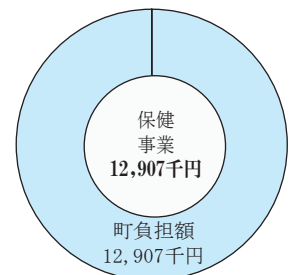
町では、妊産婦及び乳児の健康増進を図るため、14回の妊婦検診を行うとともに、妊娠中の方に対しては、牛乳を配布しています。



◇ 疾病予防

保健事業【保健福祉課】

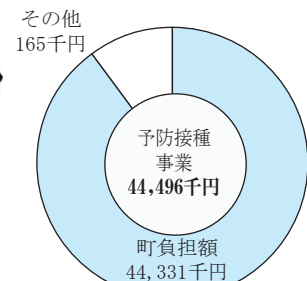
健康が増進すれば、医療費の削減にも繋がることから、皆様の健康状態を確認し、将来の健康増進に資するために「健康おがの21計画」を策定します。



予防接種事業【保健福祉課】

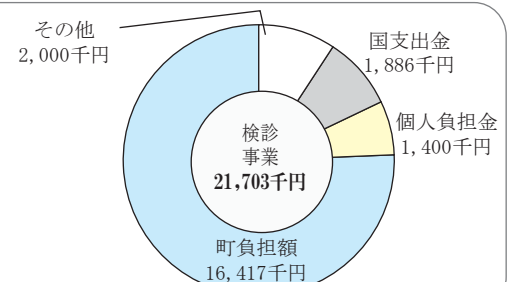
皆様を病気から未然に防ぐために、各種予防接種は効果的と考えています。

本年度もHibワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチン接種費及び高齢者のインフルエンザワクチン接種費の一部助成を行っていきます。



検診事業【保健福祉課】

病気の予防並びに早期発見にとって、検診は大変重要となっています。また、生活習慣病の低年齢化が叫ばれている現状です。そこで、引き続き、小学生及び中学生の生活習慣病予防検診を行っていきます。



Ⅲ ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり

現代は少子高齢化の進行により、人口の減少社会を迎えました。

世代を超えて期待される、思いやりの心と健やかな身体づくりを基本に、一人ひとりが個性を十分発揮できる教育を進めるとともに、学校・家庭・地域の連携を強化し、全体で子ども達を支援していきます。



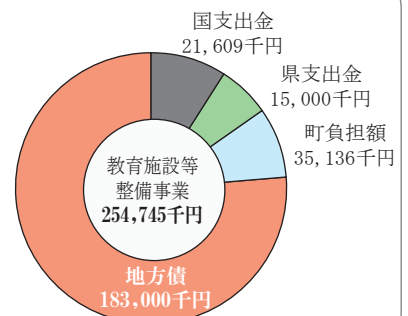
◇ 幼児・学校教育&青少年育成

学校教育施設等整備事業【学校教育課】

本年度は、各施設の非構造部材の耐震点検を行い、より安全で安心した教育環境の整備に繋がっていきます。

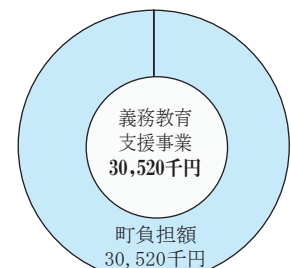
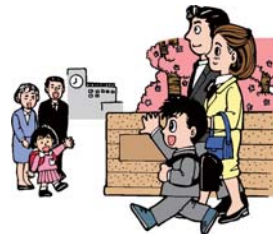
小学校では、小鹿野小学校に太陽光発電設備を追加する工事や小鹿野小学校体育館を改築するための設計を行います。また、長若小学校外トイレの改築も行います。

中学校においては、小鹿野中学校校舎の大規模改修・増築工事や長若中学校外トイレの改築工事を行います。



義務教育支援事業【学校教育課】

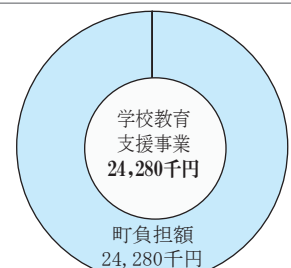
義務教育課程における家庭の負担軽減を図るため、本年度も第二子以降の教材費と給食費の一部を助成します。



学校教育支援事業【学校教育課】

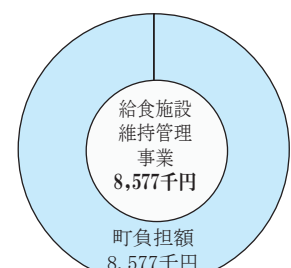
小中学校に生活指導補助員を引き続き配置し、快適な教育環境の整備に努めます。

また、学校図書室の充実を図るため、県の緊急雇用創出基金事業の終了に伴い、町単独事業として引き続き図書整理員を配置します。



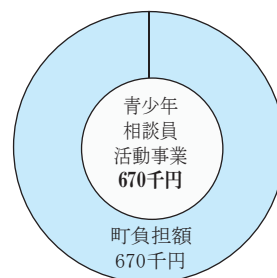
給食施設維持管理事業【学校教育課】

小鹿野中学校敷地内にある小鹿野学校給食共同調理場の排水施設の改修を行い、安定的な給食の提供に努めます。



青少年相談員活動事業【社会教育課】

地域の子供会等と連携し、青少年の非行防止や健全育成に資するため、児童を対象としたキャンプやハイキングなどを行っています。また、毎年夏に、子どもソフト・ポート大会を行い、子ども達の交流の場を設けています。

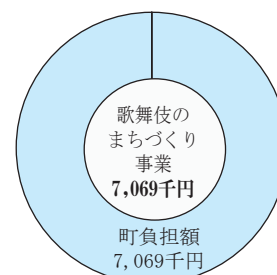


◇ 社会教育と文化活動

歌舞伎のまちづくり事業【社会教育課】

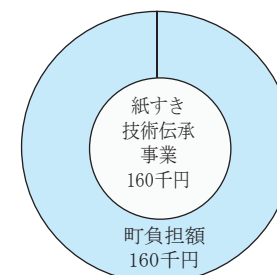
小鹿野歌舞伎は町の顔として広く知れ渡り、小鹿野町のPRに大きく貢献しています。

本年度も歌舞伎・郷土芸能祭を開催するとともに、歌舞伎伝承活動に対する助成を行います。また、改修の終わった宗吾神社舞殿で行われる記念公演実行委員会に対する助成も行います。



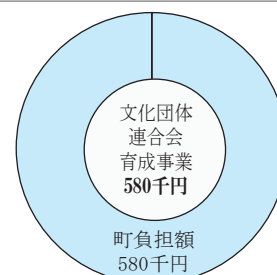
紙すき技術伝承事業【社会教育課】

町で伝承されている紙すき技術の保存・活用のため、伝承者の育成と用具等の整備を行います。



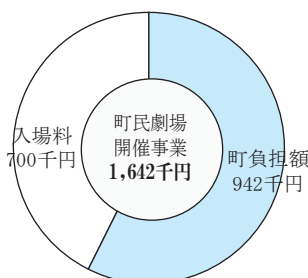
文化団体連合会育成事業【中央公民館】

町の文化の向上や地域のコミュニティ増進のため、60団体の方々が活動しています。



町民劇場開催事業【中央公民館】

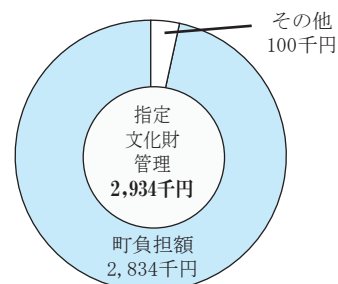
文化講演会と交互に開催しています。本年度は、町民劇場開催年となります。町民の皆様は夢と希望及び安らぎを与えられるような催し物を計画します。



指定文化財管理事業【社会教育課】

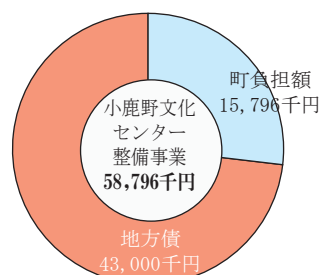
町内にある指定文化財 137 件の維持管理を行っています。

本年度は、三山の「犬木の不整合」への遊歩道整備や考古学資料（黒曜石）の分析業務などを行います。

**小鹿野文化センター整備事業【中央公民館】**

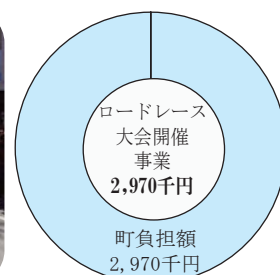
小鹿野文化センターは、開館以来 29 年を経過し、損傷箇所が多くなっています。この施設は、町民の文化・芸術活動の拠点となる場所でありますので、皆様が安心して快適に活動できるよう昨年度から計画的に改修工事を行っています。

本年度は、玄関屋根と舞台吊り物機構の改修を行います。

**◇ スポーツ・レクリエーション****ロードレース大会開催事業【社会教育課】**

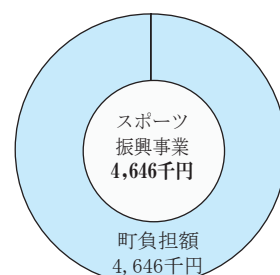
年々参加者数が増加し、1,000 人を超えるランナーで盛大に開催されています。

町外からの参加者も多いので、町を PR する良い機会と捉え、より一層盛り上げていきます。

**スポーツ振興事業【社会教育課】**

体育協会・スポーツ少年団・各地区で行う運動会の助成などを行っています。

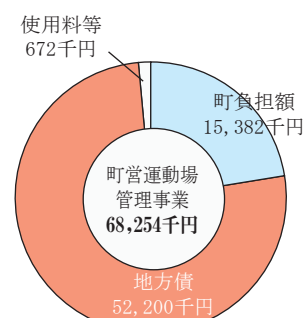
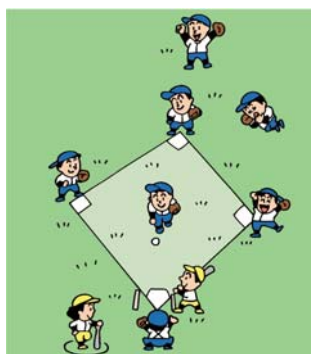
また、チャレンジデーなどのスポーツイベントを通じて運動が習慣になるようにし、健康増進に繋がるよう努めます。

**町営運動場管理事業【社会教育課】**

町内各地にある 6 カ所の運動広場の管理を行っています。

本年度は、改修後 20 数年を経過し、表面の痛みが激しいため下小鹿野運動場の全面改修工事を行います。

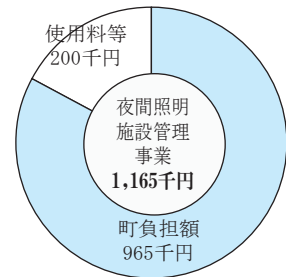
また、凍結により冬期使用ができない間明平運動場のトイレ改修工事を行い、公衆トイレとして年間を通じて使用できるようにします。



夜間照明施設管理事業【社会教育課】

町内には、3カ所の夜間照明施設のある運動場があります。

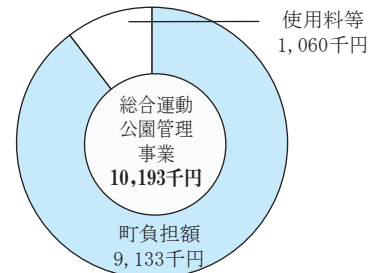
本年度は、小鹿野中学校校庭にある夜間照明の水銀灯交換工事を行います。



総合運動公園管理事業【社会教育課】

総合運動公園には現在、野球場1面、テニスコート6面、ゲートボール場2面、グラウンドゴルフ場1面があります。

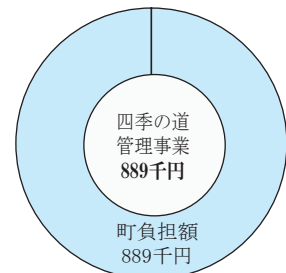
本年度は、野球場裏の安全柵の更新を行います。



四季の道管理事業【産業観光課】

腰ノ根地区を東西に走る「四季の道・小鹿野」は、手軽なハイキングコースとして、多くの人に親しまれています。

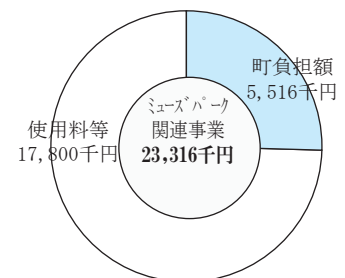
昨年度は老朽化が激しい展望台の修繕を行いました。今後もより多くの人に親しまれるよう整備を行っていきます。



ミューズパーク関連事業【産業観光課】

秩父ミューズパーク内では、サイクリングセンター・スカイトレイン及び農林産物直売所事業を行っています。

公園設置者の秩父市と連携し、今まで以上に利用者の皆様に楽しんでいただける場所にしていけるよう努めます。

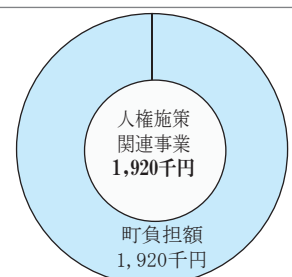


◇ 人権の尊重

人権施策推進事業【総務課】

人権教育推進事業【社会教育課】

年齢・性別・国籍など様々な人権問題の解消を図り、一人ひとりの人権を尊重し、温かい共生社会の実現を目指します。



IV 地域に根ざした活気あふれる産業づくり

農林業の伸展や企業の発展は、雇用の確保や所得の向上など住民生活にとって重要なことであり、引き続きその振興を推進していきます。

また、小鹿野町にある多様な観光資源を活かした観光産業の発展を図り、交流人口を増加させることなどで、更なる町の発展に努めます。

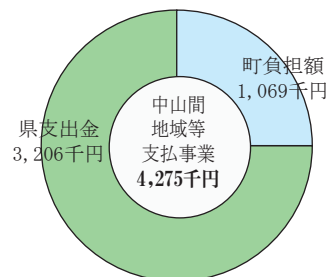


◇ 農林業の振興

中山間地域等直接支払事業【産業観光課】

この制度は、過疎化や高齢化が進む中山間地域において、農地の多面的機能の維持・増進を図るため、自立的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備に向けた地域の取り組みを支援する制度です。

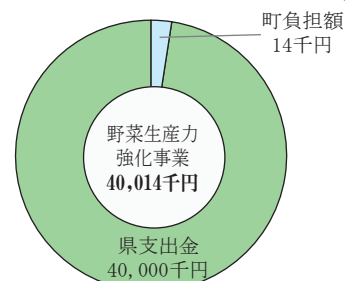
現在町内には、16カ所の地域が活動を行っています。



埼玉野菜生産力強化支援事業【産業観光課】

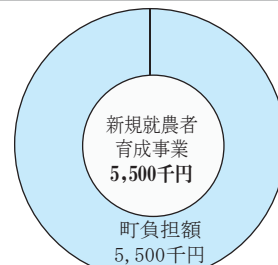
輸入食品の残留農薬問題等から、輸入野菜に対する消費者の不信感が広がり、安全・安心な国産野菜への期待が高まっています。

このようなことから、野菜生産における高品質・高付加価値化、低コスト化等、産地の生産力強化を目的とする取組を総合的に推進し、経営の安定と農産物の安定供給を図るため、JAちちぶが設置する農産物集荷所の設置経費の一部を助成します。



新規就農者支援事業【産業観光課】

出荷を目的として新たに農業を始める方に対して、資材費の一部を助成します。また、規模を拡大する方に対しても助成を行い、農業での生計維持に寄与していきます。

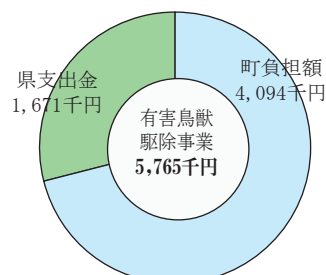


有害鳥獣駆除事業【産業観光課】

鳥獣による作物被害は年々増加傾向にあります。

猟友会の方たちのご協力により駆除を行うとともに、被害を未然に防ぐために進入防止柵購入の補助も引き続き行っています。

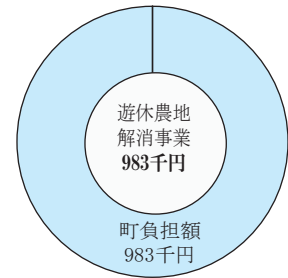
また、周辺町村及び県とも連携を強化して全体で対策を考えていきます。



遊休農地解消事業【産業観光課】

町内全域に渡り耕作放棄地を調査するとともに、遊休農地解消のために新規作物植え付けに対して、助成を行います。

また、六次産業をPRしていくために、イベント等に参加します。



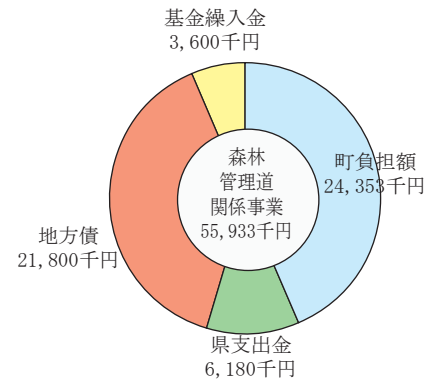
森林管理道管理事業
森林管理道改良事業
県営森林管理道開設事業
森林管理道舗装事業

【産業観光課】

森林管理道は、森林の管理や普段の住民生活にとってもなくてはならない存在となっています。

町では、除草・除雪・修繕を行うとともに、計画的に改良工事や舗装工事を行い、利便性向上に努めています。本年度は、日蔭入支線並びに長久保線の舗装を行います。

また、県と一体となり、県営森林管理道開設にも取り組んでいます。

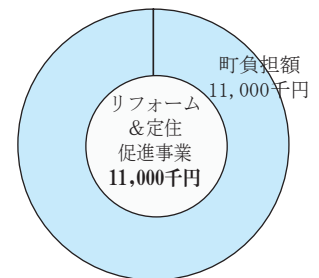


◇ 商工業の振興

住宅リフォーム資金助成事業
定住促進対策事業

【産業観光課】

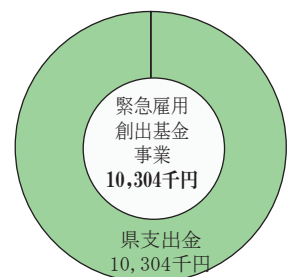
住宅リフォームに要する経費の助成や転入者が住宅を新築した場合に、固定資産税を助成し、町の人口増加と地域経済の活性化を図ります。

**緊急雇用創出基金事業**

毎年、県の基金を活用して事業を実施してきましたが、本年度は以下の二事業を行います。

◇学校ICT支援員配置【学校教育課】6,825千円

◇路面凍結箇所解消事業【建設課】3,479千円



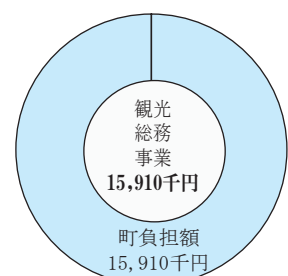
◇ 観光の振興

観光総務事業【産業観光課】

町の観光を総合的に展開している観光協会への助成や両神ふるさと祭り実行委員会への助成を引き続き行い、より多くの観光客の誘客を図ります。



両神ふるさと祭り



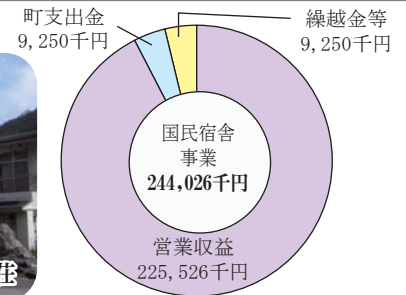
国民宿舎事業【産業観光課】

町の観光の拠点施設である国民宿舎。両神国民休養地内にあり、四季折々大勢の方にご利用いただいています。

本年度は、老朽化した箇所への修繕を行います。



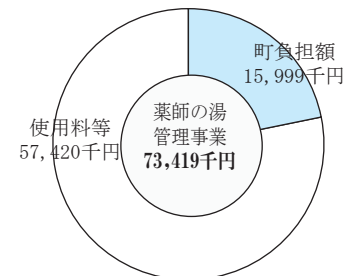
国民宿舎両神荘



薬師の湯管理事業【産業観光課】

道の駅両神温泉薬師の湯は、町民はもとより多くの観光客の皆様にご利用いただいております。

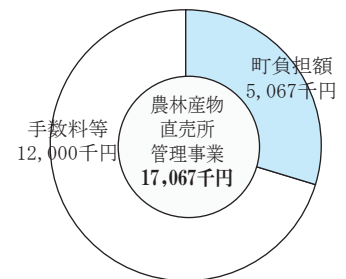
本年度は、館内の快適性向上のため、トイレの改修を行います。



農林産物直売所管理事業【産業観光課】

町設置の直売所は、両神・長尾根・西秩父農林産物直売所と3カ所あります。

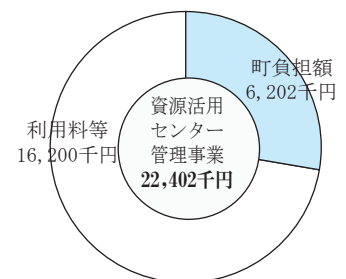
直売所は、観光客誘客に効果的であることはもちろんのこと、農業を営む人たちの励みにもなっていますので、更なる充実を図っていきます。



資源活用センター管理事業【産業観光課】

道の駅両神温泉薬師の湯と同一敷地内にあるこの施設は、そば打ち体験事業や、食事の提供などで多くの利用客があります。

今後は、より利便性が図られるよう運営を工夫していきます。

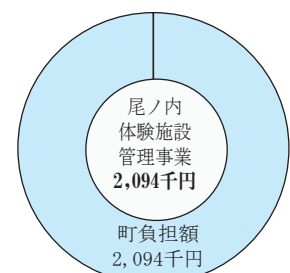


尾ノ内体験交流施設管理事業【産業観光課】

尾ノ内溪谷は、四季折々の美しい自然で訪れる皆様を迎えてくれます。

一昨年から始めた「冬の氷柱」は、様々なメディアに照会され、厳寒の時期にも関わらず、大勢の人が訪れました。

本年度も引き続き周辺整備を地元の皆様と協力しながら行うとともに、施設の一部改修も行います。



尾ノ内溪谷からの両神山



尾ノ内溪谷の氷柱

1 財政指標

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	判断基準
財政力指数（3カ年平均）	0.42	0.39	0.37	高い方が良い
経常収支比率	81.2	80.0	80.1	低い方が良い
実質公債費比率	15.0	14.1	13.5	低い方が良い
将来負担率	87.8	63.0	53.9	低い方が良い

<用語解説>

財政力指数……標準的にかかる経費に対する自主的な収入割合で、指数が高いほど財源に余裕があることとなります。いわゆる交付税不交付団体は、この数値が1.0を超えている団体です。

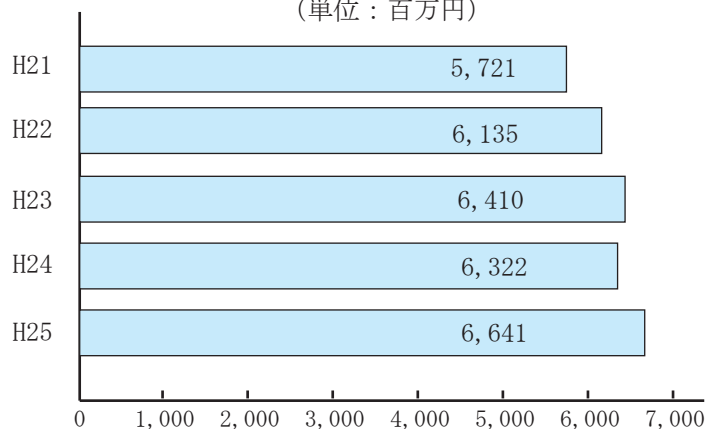
経常収支比率……財政構造の弾力性を判断する比率で、指数が低いほど弾力性があることとなります。

実質公債費比率……標準的な財政規模に占める元利償還金等（公営企業会計に対する繰出金のうち公債費に当たるものも含まれます。）の割合で、18%を超えると地方債の発行に許可が必要となります。

将来負担比率……一般会計等が将来負担すべき債務（公営企業会計・一部事務組合等・地方公社・第三セクター等の分を含む）が標準財政規模の何倍あるかを示しています。

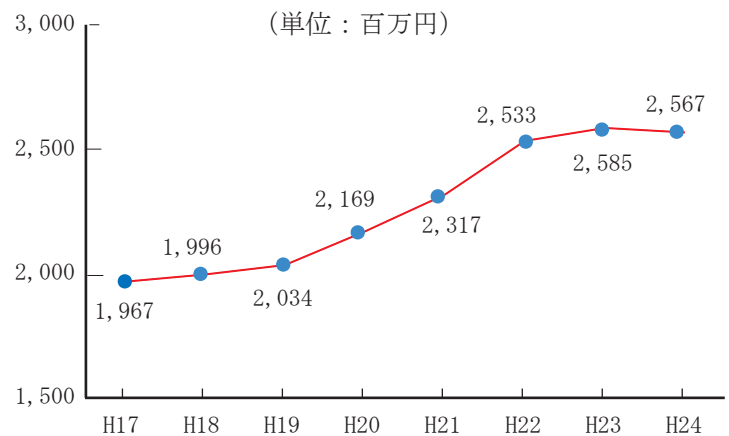
2 一般会計当初予算の推移

（単位：百万円）



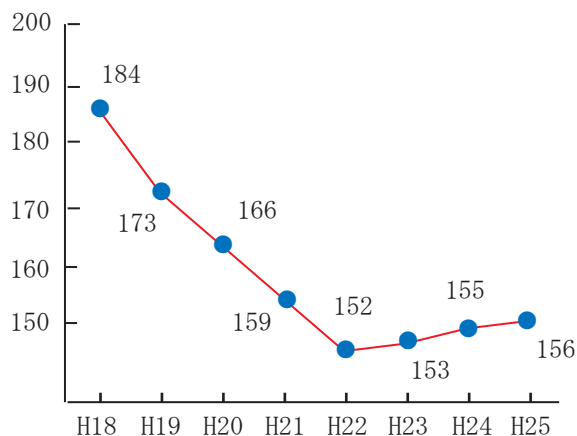
3 普通交付税の推移

（単位：百万円）



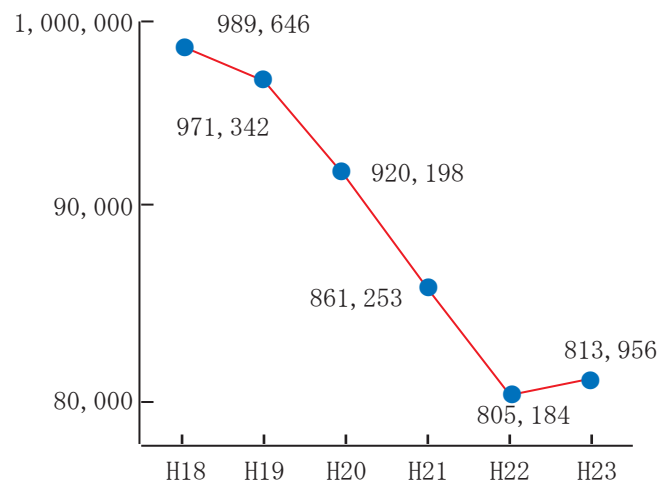
4 職員数の推移（一般会計分）（当初予算書から）

（単位：人）

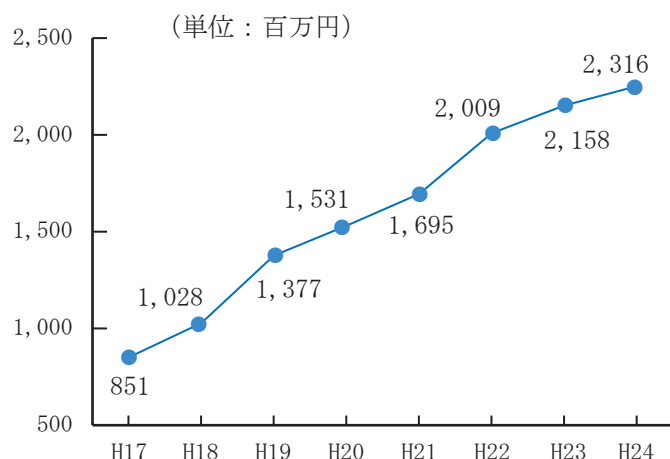


5 職員給の推移（一般会計分）（決算統計から）

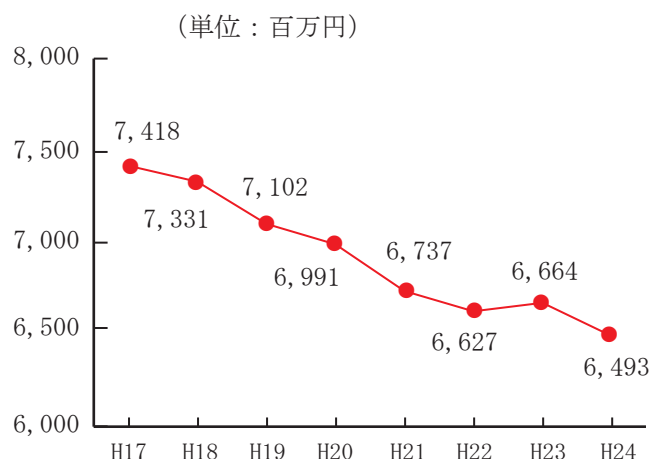
（単位：千円）



6 基金（貯金）残高の推移 (H24は見込額)



7 地方債（借金）残高の推移 (H24は見込額)



【有利な地方債】

一般的に地方債とは、地方公共団体が公共工事等を行うために借り入れるもので、一般家庭のローンと同様に利子を付けて返済します。有利な地方債とは、元金と利子の返済額の一定割合が地方交付税に算入されるということです。

また、臨時財政対策債は、交付税の代わりに発行する地方債で、返済額の満額が後年度交付税で措置されます。

平成23年度決算に基づく有利な地方債残高

- ◆過疎対策事業債 499,178千円
＜交付税算入率：70%＞
- ◆辺地対策事業債 72,306千円
＜交付税算入率：80%＞
- ◆合併特例事業債 873,483千円
＜交付税算入率：70%＞
- ◆臨時財政対策債 2,917,374千円
＜交付税算入率：100%＞

8 小鹿野町役場・電話番号一覧 代表：0494-75-1221 FAX：0494-75-2819

◇小鹿野庁舎1階

総務課	75-1225
総合政策課	75-4197
税務課	75-4125
住民課	75-4170
会計課	75-4136

◇小鹿野庁舎2階

議会事務局	75-4199
-------	---------

◇両神庁舎1階

両神庁舎管理課	79-1122
産業観光課	79-1100
建設課	79-1204
学校教育課	79-1201

◇保健福祉センター

保健福祉課	75-4421
-------	---------

◇町立病院

町立病院	75-2332
------	---------

◇衛生センター

衛生課	75-0352
-----	---------

◇小鹿野文化センター

社会教育課	75-0063
中央公民館	

◇上水道浄水場

水道課	75-0043
-----	---------

◇両神ふるさと総合会館

両神公民館	79-1311
町立図書館	79-0150

防災放送内容確認電話 79-1761

9 小鹿野町の沿革

小鹿野町は、昭和30年4月に小鹿野町と長若村が合併、翌31年3月31日に小鹿野町と三田川村及び倉尾村の1町2村が合併。

両神村は、明治7年に薄村と白井差村が合併。明治22年4月1日に薄村と小森村が合併し両神村が誕生。

平成17年10月1日に小鹿野町と両神村が合併し、現在の小鹿野町となりました。

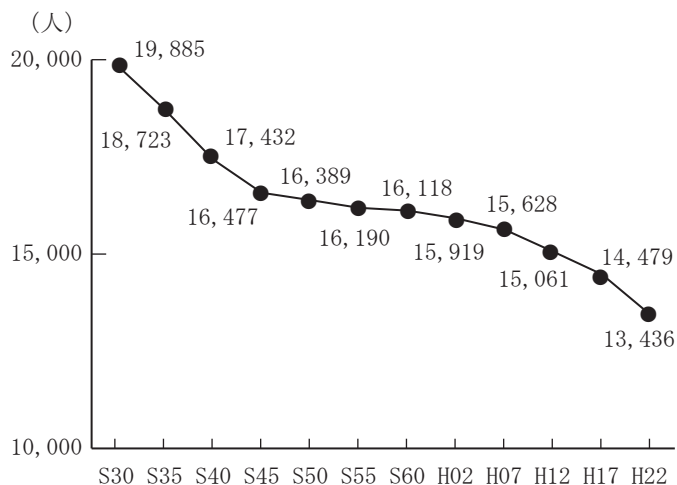
現在の姿となるまでの間、小鹿野町は下小鹿野村、伊豆沢村等の合併とともに、明治元年10月に岩鼻村、同3年に群馬県に編入、同5年に入間県に属し、同6年に熊谷県、同9年に埼玉県に移管されています。

なお、小鹿野町の歴史は古く、「おがの」の町名は平安時代『巨香郷（こかのごう）』と和名抄に載せられたことに始まると伝えられ、由緒あることから、明治22年以来、関係町村一致の意見をもって旧町名をそのまま受け継ぎ、今日に至っています。

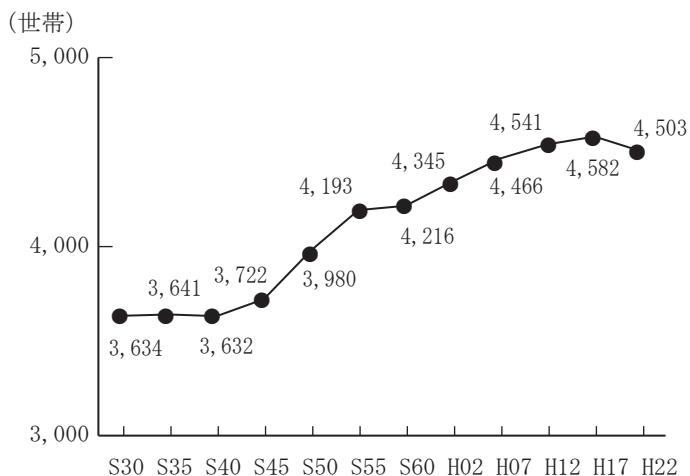


人口数の推移

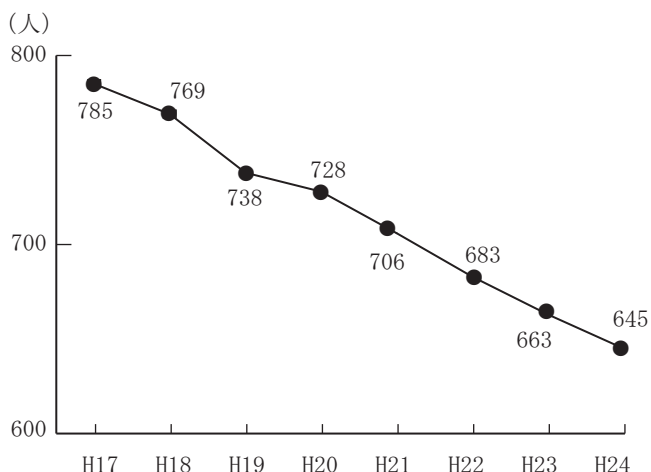
※国勢調査の数値
平成12年までは、旧小鹿野町と旧両神村の合計



世帯数の推移



小学校児童数の推移



中学校生徒数の推移

